



RayKit

RaySheet 機能別ガイドブック

権限設定

RaySheet では、RaySheet 上で行える操作を独自でコントロールすることができます。

社内で他のメンバーに RaySheet を広めて活用していくためには、アクセス権が適切に設定されていることが大切です。

各アクセス権の概要を理解し、自社の運用にあった権限設定を行ってみてください。

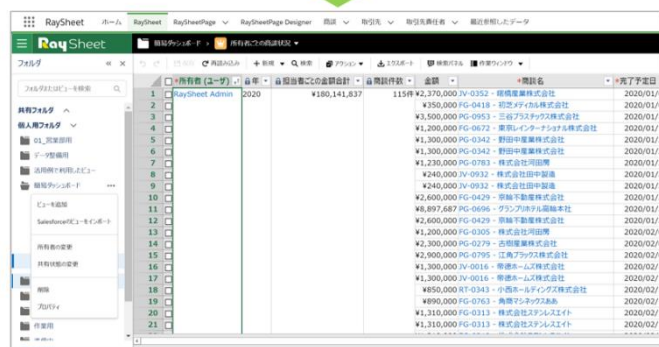
権限設定前

- ・全メンバーがレコードをエクスポートできる
- ・全メンバーがすべてのオブジェクトの参照権限を持っている など



例)

- ・ Excelエクスポートできる
- ・ すべてのオブジェクトを参照できる



権限設定後

- ・ プロファイルやユーザに対して適切に権限が付与され、操作の制御が行えるように

一般社員

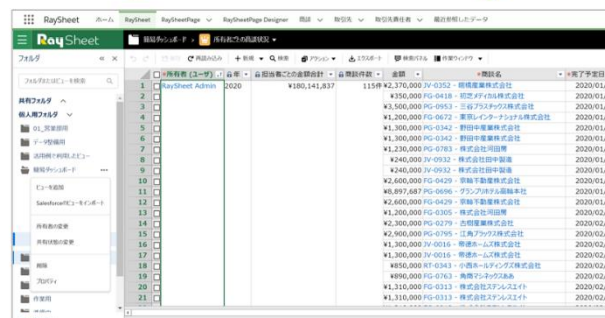


- ・ Excelエクスポート不可×
- ・ 特定のオブジェクトのみ参照可○

部長



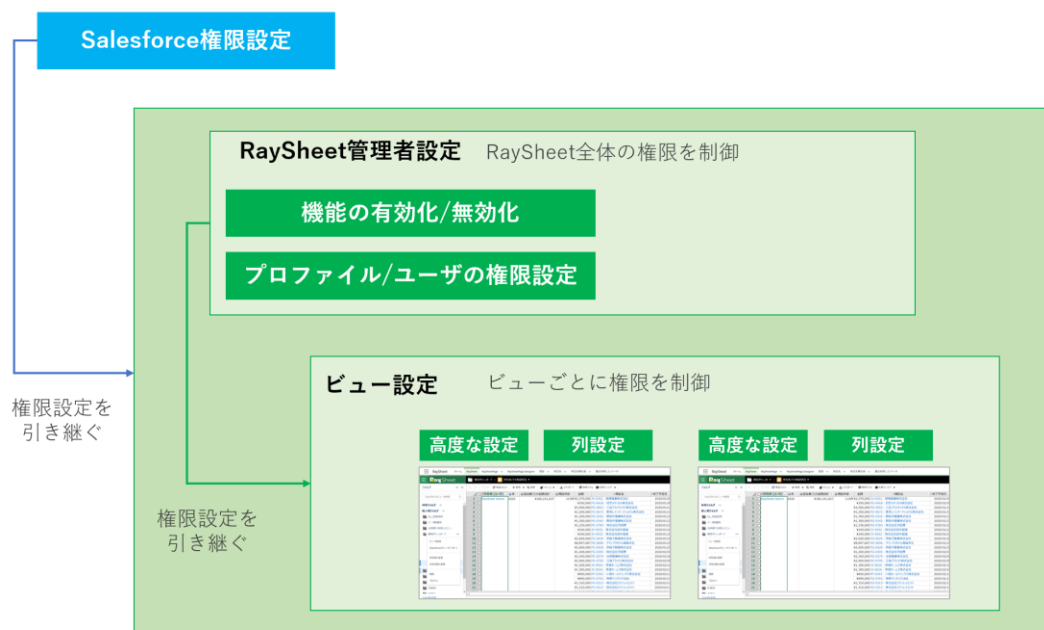
- ・ Excelエクスポート許可◎
- ・ 全オブジェクトの参照が可能◎



Salesforce のアクセス権との関係

Salesforce で設定したアクセス権は RaySheet でも有効になります。

RaySheet で権限設定を行う場合には、Salesforce で設定した権限にさらに制御を加えた形で動作します。



各動作や機能は次の設定で制御します。

設定項目	Salesforce	RaySheet	
	権限設定	管理者設定	ビューごとの設定
RaySheet 利用ユーザ	プロファイル／権限セット	×	×
利用する RaySheet の機能	×	機能の有効化/無効化	×
表示するオブジェクト	オブジェクトのアクセス権	表示できるオブジェクト	×
レコード操作	プロファイル・権限セット	権限	高度なデザイン/列設定

RaySheet 導入・ユーザ追加時の設定

RaySheet を AppExchange からインストールした後、Salesforce システム管理者によってユーザに

①ライセンス ②権限セット ③カスタムアプリ を設定します。

これらの設定は、RaySheet インストール直後やユーザ追加時に行います。

ライセンス設定

RaySheet のインストール直後に Salesforce システム管理者が設定を行います。ここで割り当てるライセンスの数は、RaySheet 契約時のライセンス数を指します。

操作手順

Salesforce のアプリケーション設定画面で [アプリケーション] - [パッケージ] - [インストール済みパッケージ] - [インストール済みパッケージ] の順に展開します。

RaySheet の [ライセンスの管理] をクリックします。

設定 インストール済みパッケージ

インストール済みパッケージ

AppExchange ページでは、開発済みのアプリケーションやコンポーネントを参照したり、トライアルをしたり、ダウンロードして、お客様の salesforce.com 環境に直接インストールしたり、アプリケーションやコンポーネントは、パッケージでインストールされます。インストール直後は、すべてのカスタムアプリケーション、タブ、およびカスタムオブジェクトに「開発中」のマークが付けられます。コンポーネントは、[リリース] をクリックして、他の設定機能を使用して個々にリリースしたり、グループ単位でリリースしたりできます。

インストール済みパッケージの横にあるリンクにより、このページから別のアクションを実行できます。

パッケージを削除するには、[アンインストール] をクリックします。パッケージのライセンスを管理するには、[ライセンスの管理] をクリックします。

アクション	パッケージ名	公開者	バージョン番号	名前空間/プレフィックス	状況	許可されているライセンス数	使用ライセンス
アンインストール 設定 ライセンスの管理	RaySheet	GrapeCity Inc.	11.2.1	gcscs	有効	10	2

説明
<https://appexchangejp.salesforce.com/listingDetail?listingId=a0N3A00000ERkgOUAT>

アンインストールされたパッケージ

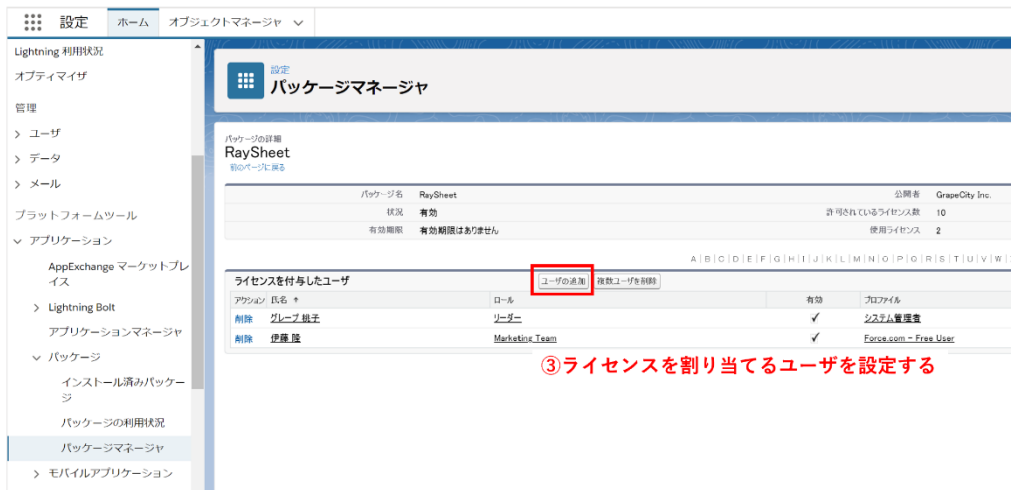
②ライセンスの管理をクリック

アンインストールされたパッケージのデータのアーカイブはありません

①インストール済みパッケージをクリック

※[クイック検索] ボックスに「インストール済みパッケージ」と入力して検索する方法もあります。

[ユーザの追加] から RaySheet の使用権限を付与したいユーザを設定します。



権限セットの割り当て

i これは RaySheet 導入時・ユーザ追加時に必ず必要になる設定です。忘れずに設定を行ってください。
権限セットをプロファイル/ユーザに付与することで、各ユーザが RaySheet を使えるようになります。

操作手順

Salesforce のアプリケーション設定画面で [ユーザ] - [権限セット] [権限セット] の順にクリックし、「RaySheet User」を選択します。



※[クイック検索] ボックスに「権限セット」と入力して検索する方法もあります。

[割り当ての追加] をクリックし、割り当てるユーザを追加します。

設定
権限セット

権限セット
RaySheet User

①クリック

割り当ての管理

権限セット概要

説明
Configure Object, Page, Tab permissions for RaySheet users.

ライセンス
セッションの有効化が必要 ☐

最終更新者
グレース 雄子 2021/04/30 13:34

アプリケーション

設定
権限セット

割り当てられたユーザ
RaySheet User

戻る 権限セット

②割り当てを追加

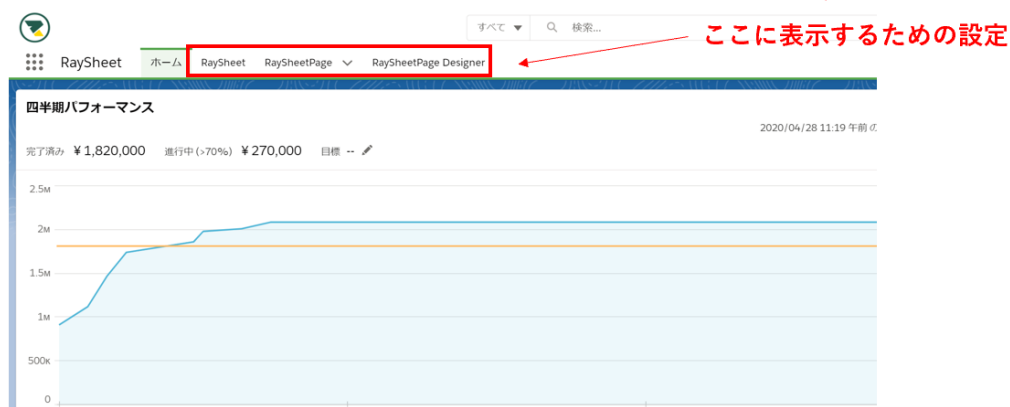
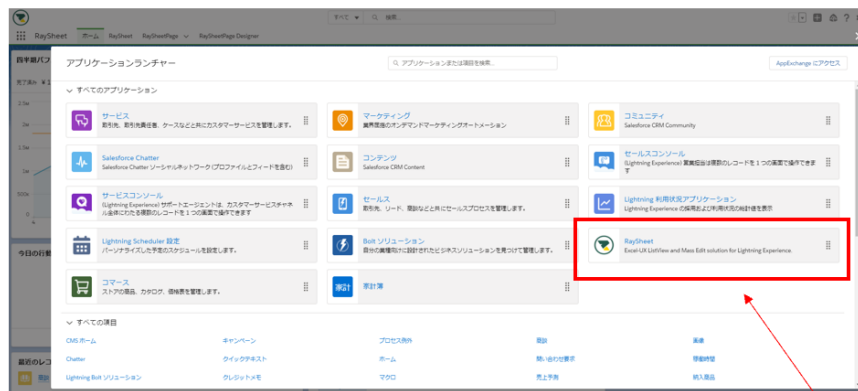
割り当てを追加 割り当てを削除

<input type="checkbox"/> アクション	氏名 *	別名	ユーザ名	最終ログイン
<input type="checkbox"/> 編集	グレース 雄子	雄子	test	2021/05/18
<input type="checkbox"/> 編集	伊藤 隆	伊藤	test	

割り当てを追加 割り当てを削除

カスタムアプリの許可

Salesforce のアプリケーションメニューに RaySheet を表示させるための設定です。



操作手順

Salesforce のアプリケーション設定画面で [管理] - [ユーザ] - [プロファイル] の順にクリックし、RaySheet を許可したいプロファイルを選択します。



※[クイック検索] ボックスに「プロフィール」と入力して検索する方法もあります。

次の項目の「参照可能」にチェックします。

- ・ RaySheet (gcss__SpreadsheetApp_Lightning)
- ・ RaySheet (gcss__SpreadsheetApp)

設定
ホーム オブジェクトマネージャ

クイック検索

設定のホーム

サービス設定アシスタント

多要素認証アシスタント

リリース更新

Lightning Experience 切り替えアシスタント

新しい Salesforce モバイルアプリケーション クイックスタート

Lightning 利用状況

最適化

管理

▼ ユーザ

キュー

プロフィール

ユーザ

ユーザ管理設定

ロール

公開グループ

権限セット

設定

プロフィール

プロファイル名: 営業(正社員)

ユーザライセンス: Salesforce

説明

カスタムアプリケーション設定

	参照可能	デフォルト
Analytics Studio (standard__Insights)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
Bulk リファクタリング (standard__LightningBulk)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
Lightning Scheduler 設定 (standard__LightningScheduler)	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
Lightning 利用状況アプリケーション (standard__LightningInstrumentation)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
RaySheet (gcss__SpreadsheetApp_Lightning)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
RaySheet (gcss__SpreadsheetApp)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
Salesforce Chatter (standard__Chatter)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
Salesforce CMS (standard__SalesforceCMS)	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
Site.com (standard__Sites)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
WDC (standard__Work)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
アプリケーションランチャー (standard__AppLauncher)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
キュー管理 (standard__QueueManagement)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>

参照可能に ✓

機能の有効化/無効化を設定する

RaySheet で利用する機能を有効/無効に切り替える設定を行います。

ここで無効化された機能は、管理者を含めたすべてのユーザが利用できなくなります。

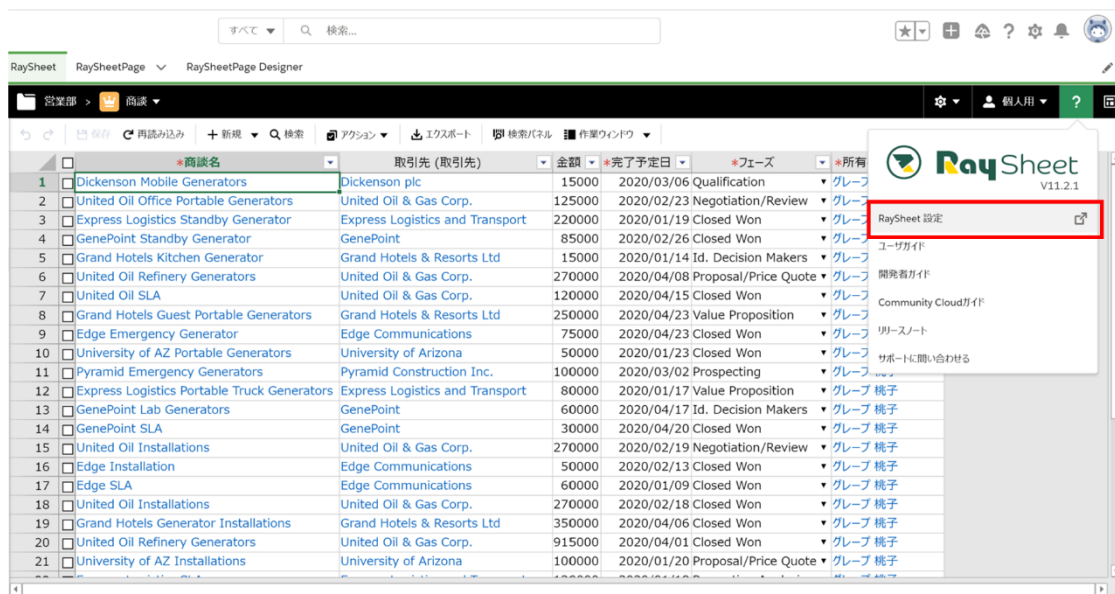
機能一覧	
お気に入りの編集	レコードのエクスポート
[現在のページで検索と置換] 画面の表示	レコードの編集
[列の設定] 画面と書式ルール	ワーク列
ToDo の一括登録	検索パネル
オブジェクトごとのアクション	集計行
クリップボードからの貼り付け	詳細ツールチップの表示
セルのドラッグ&ドロップ	数式列
セルのドラッグフィル	列と行のサイズ変更
ビューのデザイン	列の固定
ビューの管理	列ヘッダーによるフィルター
メモの一括登録	列ヘッダーによる並び替え
レコードタイプによる選択リストの制限	



- この設定はどこでも View と RaySheetPage には適用されません。

操作手順

画面右上の「?」をクリックし、RaySheet 設定を開きます。



タブを「機能の有効化と無効化」に切り替え、設定を行います。

RaySheet 設定

①機能の有効化と無効化タブを開く

ディスプレイモード **機能の有効化と無効化** オブジェクトの設定 権限 表示できるオブジェクト 設定のエクスポートとインポート

この組織でRaySheetの機能を有効化または無効化します。注意：この設定は「どこでもView」には適用されません。

機能の検索

24 個の機能のうち、22 個が有効化。

「お気に入り」の編集 ユーザーに「お気に入り」のオブジェクトの一覧の編集を許可します。	無効化された機能	<input type="checkbox"/>
「現在のページで検索と置換」画面 「このページで検索と置換」ダイアログを有効にします。	有効化された機能	<input checked="" type="checkbox"/>
「列の設定」画面と書式ルール 列の見出しのコンテキストメニューおよび「選択した列」で「列の設定」、「書式ルール」を有効にします。		<input checked="" type="checkbox"/>
ToDoの一括登録 ユーザーに「アクション」およびコンテキストメニューでToDoの一括登録を許可します。		<input checked="" type="checkbox"/>
オブジェクトごとのアクション ユーザーにツールバー上の「アクション」を許可します。		<input checked="" type="checkbox"/>

操作権限を設定する

プロファイル/ユーザごとに RaySheet 上での操作を制御する設定です。

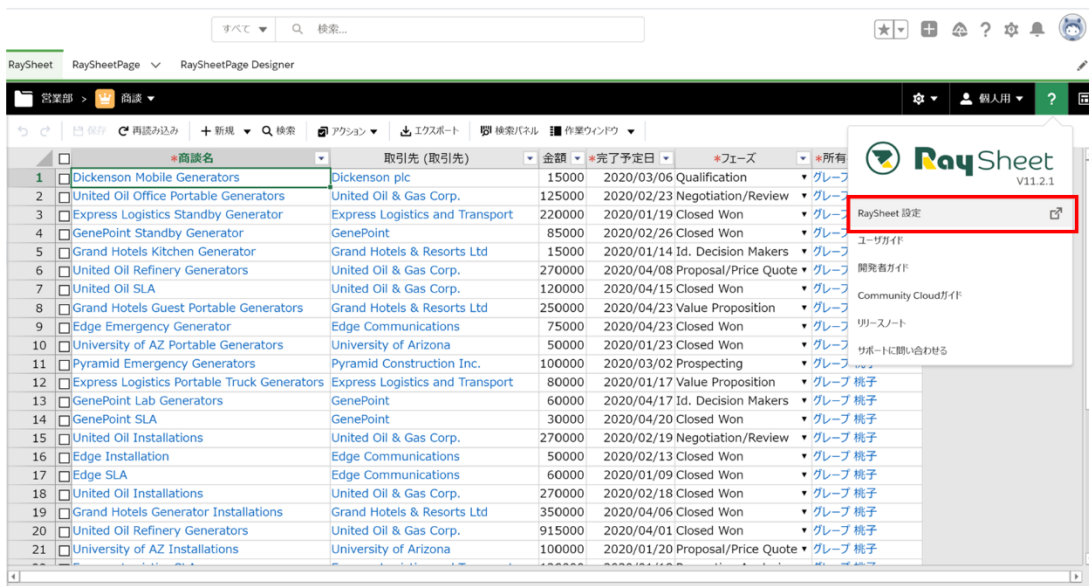
RaySheet 上での動作は Salesforce で設定した権限を継承しますが、ここでさらに権限設定を追加することができます。

ここで制御できる権限と詳細は次の通りです。

権限	操作詳細
レコードの編集	レコードを編集する
お気に入りの編集	お気に入りを編集する
レコードのエクスポート	レコードをエクスポートする
ビューの管理	ビューを新規作成する
ビューのデザイン	ビューのデザインを設定する
フォルダの作成	<ul style="list-style-type: none">・フォルダを新規作成する・フォルダの所有者になる ※フォルダの所有者変更は現在の所有者が行えます。 デフォルトではフォルダの作成者が所有者として割り当てられます。
フォルダの共有	フォルダの共有先を設定する
RaySheetPage の編集	RaySheetPage でレコードを編集する

操作手順

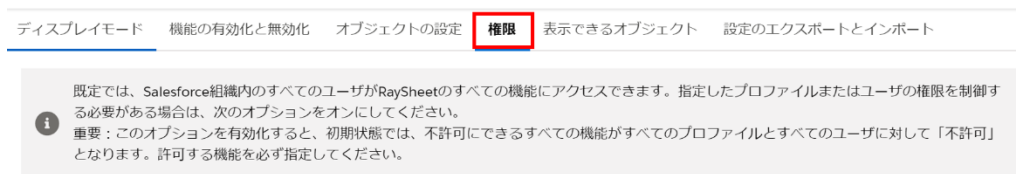
Salesforce システム管理者が画面右上の「？」をクリックし、RaySheet 設定を開きます。



プロフィール単位の設定

タブを「権限」に切り替え、設定を行います。

①権限タブを開く



プロフィールごと、ユーザーごとの権限設定を有効化する ☒



②ユーザーごとに設定

ユーザ単位の設定

ユーザ単位に個別に権限を設定したい場合には、ユーザタブに切り替えて設定を加えます。

例)

営業部はプロファイルの設定でレコードエクスポートを不許可に設定したとします。

しかし、「営業部のグレープ桃子さんには例外的にエクスポート権限を付与したい」という場合にユーザごとの設定を使用します。

ディスプレイモード 機能の有効化と無効化 オブジェクトの設定 **権限** 表示できるオブジェクト 設定のエクスポートとインポート

既定では、Salesforce組織内のすべてのユーザがRaySheetのすべての機能にアクセスできます。指定したプロファイルまたはユーザの権限を制御する必要がある場合は、次のオプションをオンにしてください。
重要：このオプションを有効化すると、初期状態では、不許可にできるすべての機能がすべてのプロファイルとすべてのユーザに対して「不許可」となります。許可する機能を必ず指定してください。

プロファイルごと、ユーザごとの権限設定を有効化する ☒

プロファイル

ユーザ

フィルター ▼

ユーザの検索

- Chatter Expert
- Data.com Clean
- Platform Integration User
- Process Automated
- User Integration
- User Security
- グレープ 桃子**

グレープ 桃子

nanaa7.sato@gmail.com

ロール: リーダー

プロファイル: 営業部

変更を保存

変更を破棄

②ユーザごとに設定

権限

すべて継承 すべて許可 すべて不許可

レコードのエクスポート

継承 (不許可) 許可 不許可

ビューの管理

継承 (不許可) 許可 不許可

ビューのデザイン

継承 (不許可) 許可 不許可

※設定値 [継承 (許可)] はプロファイルごとの設定をそのまま引き継ぐことを意味します。

13



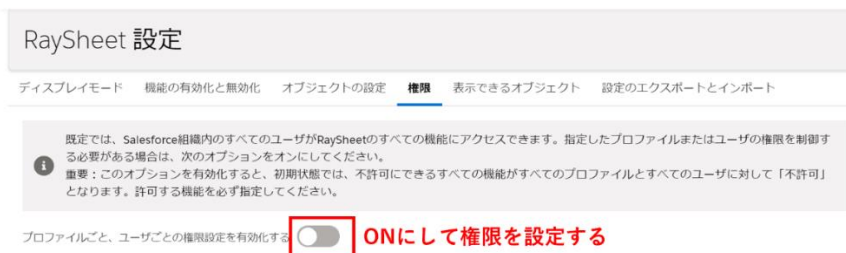
- 権限の優先度について

ユーザ単位に表示できるオブジェクトを設定すると、下の図のように 1 人のユーザが複数のアクセス権を持つことがあります。その場合には、ユーザ権限で設定した権限が許可されます。

営業部 グレープ桃子	[✓] ユーザ権限
営業部	[] プロファイル権限

↑ ユーザ権限が優先

- RaySheet をインストールした直後は、すべてのユーザが RaySheet の全機能を使うことができる状態になっており、下の図のように表示されます。設定を ON に切り替え、設定を行ってください。



- [機能の有効化/無効化] で無効にした機能は、利用することができません。
- Salesforce の項目のアクセス制御は引き継ぎます。

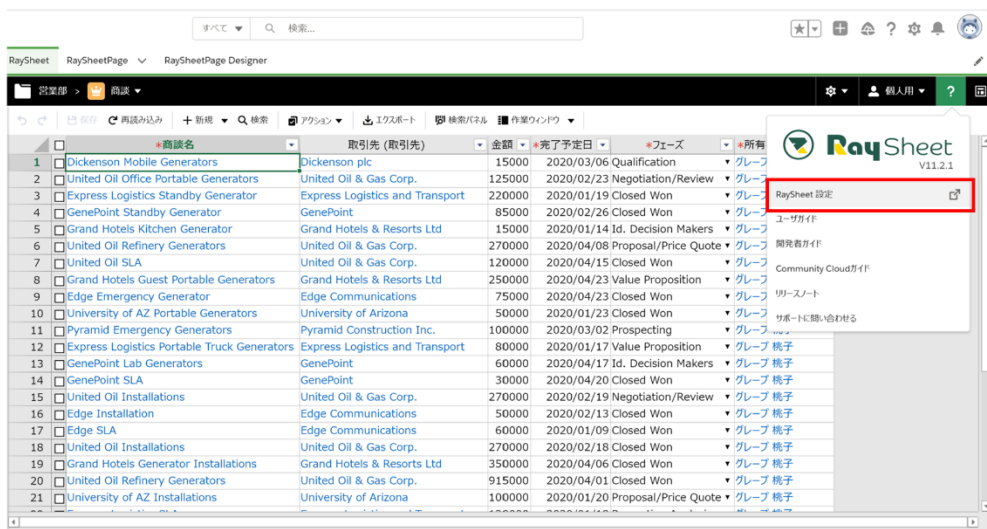
表示できるオブジェクトを制御する

ユーザがアクセスできるオブジェクトを制御する設定です。

ここで無効に設定されたオブジェクトはデータの参照や対象オブジェクトのビュー作成が行えなくなります。

操作手順

Salesforce システム管理者が画面右上の「？」をクリックし、RaySheet 設定を開きます。



プロファイル単位の設定

タブを「表示できるオブジェクト」に切り替え、プロファイルごとに設定を行います。

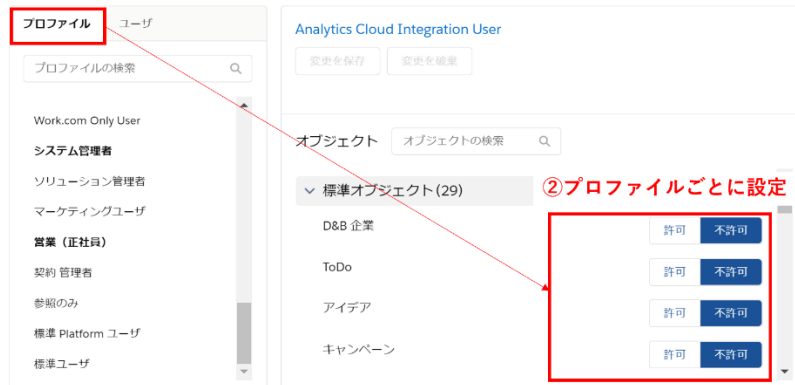
RaySheet 設定

①表示できるオブジェクトタブを開く

ディスプレイモード 機能の有効化と無効化 オブジェクトの設定 権限 **表示できるオブジェクト** 設定のエクスポートとインポート

既定では、Salesforce組織内のすべてのユーザがSalesforceの権限設定に基づいてRaySheetからSalesforceのオブジェクトにアクセスできます。特定のプロファイルまたはユーザのオブジェクトの表示を制御する必要がある場合は、次のオプションをオンにしてください。
重要：このオプションを有効化すると、初期状態ではすべてのオブジェクトがすべてのユーザに対して「不許可」となります。RaySheetを通してアクセス許可するオブジェクトを必ず指定してください。

プロファイルごと、ユーザごとのオブジェクト表示の権限を有効化する ☒



ユーザ単位の設定

ユーザ単位に個別に権限を設定したい場合には、ユーザタブに切り替えて設定を加えます。

例)

営業部はプロファイルの設定でキャンペーンオブジェクトの表示を不許可に設定したとします。

しかし、「営業部のグレープ桃子さんには例外的に表示権限を付与したい」という場合にユーザごとの設定を使用します。

The screenshot shows the 'RaySheet 設定' (RaySheet Settings) page. The '表示できるオブジェクト' (Objects that can be displayed) tab is selected. A message at the top explains that permissions are based on Salesforce settings and that the 'Override' option must be turned on. Below this, a toggle switch for 'Override' is turned on. The 'ユーザー' (User) tab is selected in the left sidebar, showing a list of users with 'Grapes' (グレープ 桃子) selected. The main area shows the user's profile and a table of permissions for various objects. The 'Override' section is highlighted with a red box, showing the 'Override' (許可) button selected for the 'Campaign' (キャンペーン) object.

RaySheet 設定

ディスプレイモード 機能の有効化と無効化 オブジェクトの設定 権限 **表示できるオブジェクト** 設定のエクスポートとインポート

既定では、Salesforce組織内のすべてのユーザがSalesforceの権限設定に基づいてRaySheetからSalesforceのオブジェクトにアクセスできます。特定の
のプロファイルまたはユーザのオブジェクトの表示を制御する必要がある場合は、次のオプションをオンにしてください。
重要: このオプションを有効化すると、初期状態ではすべてのオブジェクトがすべてのユーザに対して「不許可」となります。RaySheetを通してア
クセス許可するオブジェクトを必ず指定してください。

プロファイルごと、ユーザごとのオブジェクト表示の権限を有効化する ☒

プロファイル ユーザ

ユーザの検索

- Chatter Expert
- Data.com Clean
- Platform Integration User
- Process Automated
- User Integration
- User Security
- グレープ 桃子**
- 伊藤 隆
- 佐藤 太郎

グレープ 桃子
nanaa7.sato@gmail.com
ロール: リーダー
プロファイル: 営業部

変更を保存 変更を破棄

オブジェクト オブジェクトの検索

ユーザごとに設定

すべて継承 すべて許可 すべて不許可

標準オブジェクト(29)	継承 (許可)	許可	不許可
D&B 企業	継承 (許可)	許可	不許可
ToDo	継承 (許可)	許可	不許可
アイデア	継承 (許可)	許可	不許可

※設定値 [継承 (許可)] はプロファイルごとの設定をそのまま引き継ぐことを意味します。



- 権限の優先度について

ユーザ単位に表示できるオブジェクトを設定すると、下の図のように 1 人のユーザが複数のアクセス権を持つことがあります。その場合には、ユーザ権限で設定した権限が許可されます。

営業部 グレープ桃子	<input checked="" type="checkbox"/> ユーザ権限
営業部	<input type="checkbox"/> プロファイル権限

↑ ユーザ権限が優先

- Salesforce の権限設定でアクセスが許可されていないオブジェクトは RaySheet からアクセスできません。

ビュー（フォルダ）単位で設定できる権限

フォルダの共有先を設定する

RaySheet ではフォルダ内でビュー管理することができます。フォルダは個人フォルダと共有フォルダの2種類あります。



個人フォルダ	自分のみ閲覧できるプライベートなフォルダ
共有フォルダ	他のユーザに共有できる共有フォルダ

操作手順

フォルダの共有権限を持つユーザがフォルダ横に表示されている「…」をクリックし、[共有状態の変更]を選択します。



ダイアログで共有先を設定します。設定は、全員・ユーザ・ロール・公開グループ単位に行えます。



フォルダの共有方法

共有方法は「参照のみ」「変更と表示」の2種類あります。



各方法でビューに対して行える操作が異なります。以下の表でご確認ください。

権限	権限詳細
参照のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ビューの参照と編集が可能 ※項目の並び替え、ソートなどビューのデザイン変更は不可 ※別途個人ビューとして保存可能
変更と表示	<ul style="list-style-type: none"> ・ビューの参照と編集が可能 ・ビューのデザイン変更(設定の上書き保存)、別途個人ビューとして保存可能

実行時の動作

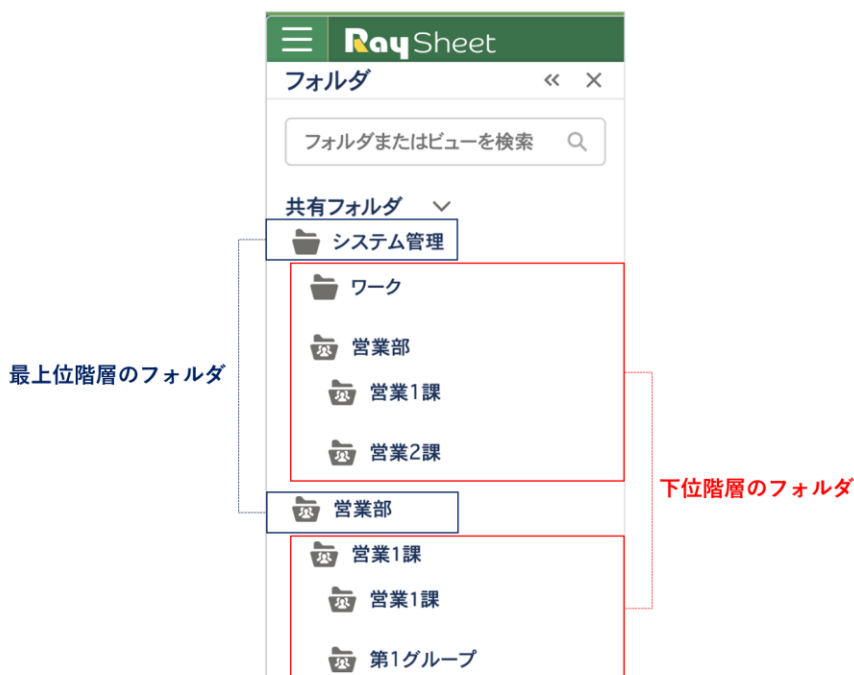
ビューのデザイン変更時に画面右上に表示されるマークをクリックして、デザインの保存を行います。

ビューのデザインを変更

個人ビューとして別途保存

サブフォルダを利用する場合のアクセス権

RaySheet ではサブフォルダを 5 階層まで作成することができます。たとえば、親子関係を利用して「営業部」 - 「営業 1 課」・「営業 2 課」のように関連する情報をフォルダにまとめて管理できます。

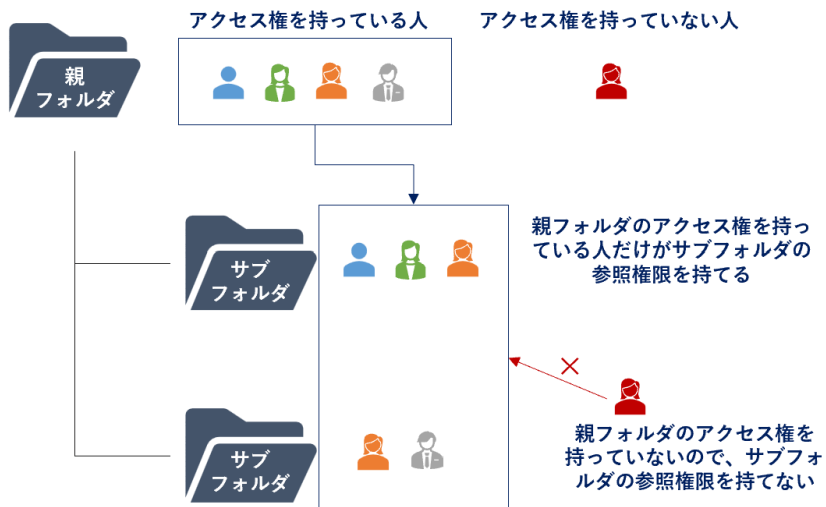


共有フォルダでは他のユーザとフォルダを共有できるようになるため、アクセス権設定が行えます。フォルダの共有状態を設定する際に、サブフォルダでは親フォルダのアクセス権を継承するか設定することができます。ここにチェックするかどうかで権限設定の考え方が変わるので、あり・なしパターンの違いを解説します。



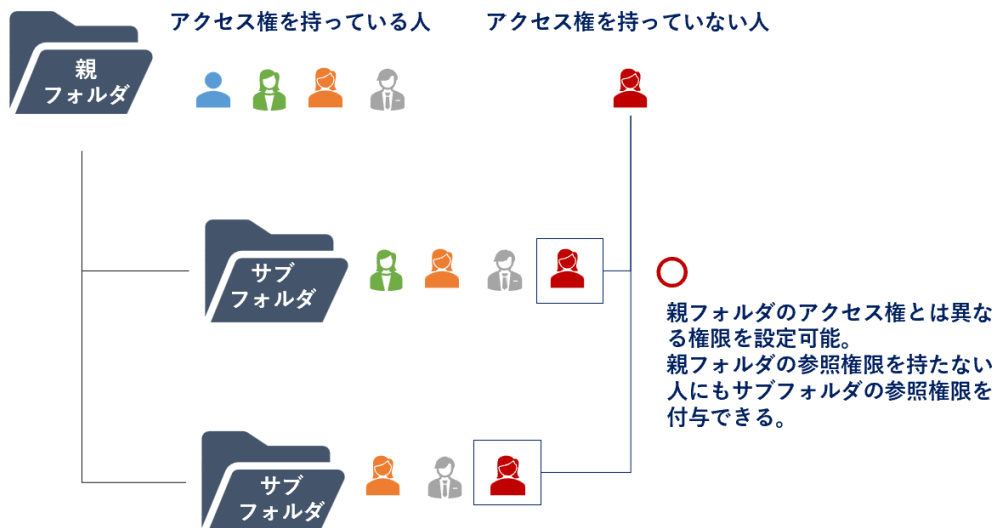
「親フォルダから継承」にチェックした場合

サブフォルダの参照権限を持てるのは、親フォルダの参照権限を持つ人だけです。サブフォルダの権限を付与したい際には、親フォルダの権限を付与する必要があります。



「親フォルダから継承」にチェックしない場合

親フォルダで設定したアクセス権とは異なる権限を設定することが可能です。たとえば、下図のように親フォルダのアクセス権を持たない人に対して、サブフォルダの参照権限を付与することができます。



図内では表現していませんが、親フォルダの所有者はサブフォルダを含むすべてのフォルダの参照権限を持ちます。

- ・フォルダの所有者：サブフォルダを含む全てのフォルダを参照します
- ・所有者以外：各フォルダで参照権限が与えられた場合に参照します

※サブフォルダの所有者は最上位のフォルダの所有者を引き継ぎます。最上位のフォルダとサブフォル

ダは異なる所有者にすることはできません。

操作権限を制御する

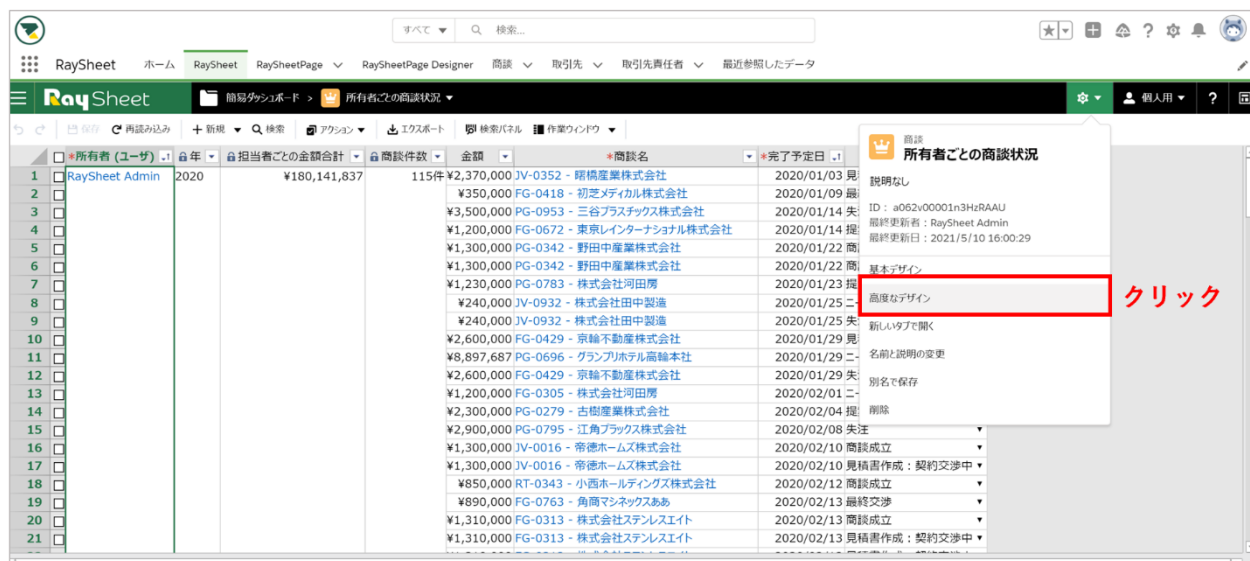
ビュー単位に操作を制御することができます。特定のビューで「閲覧専用にしたい」、「フィルター機能を無効にしたい」などといった場合に有効な制御方法です。

ここで付与される権限は管理者を含むすべてのユーザに適用されます。

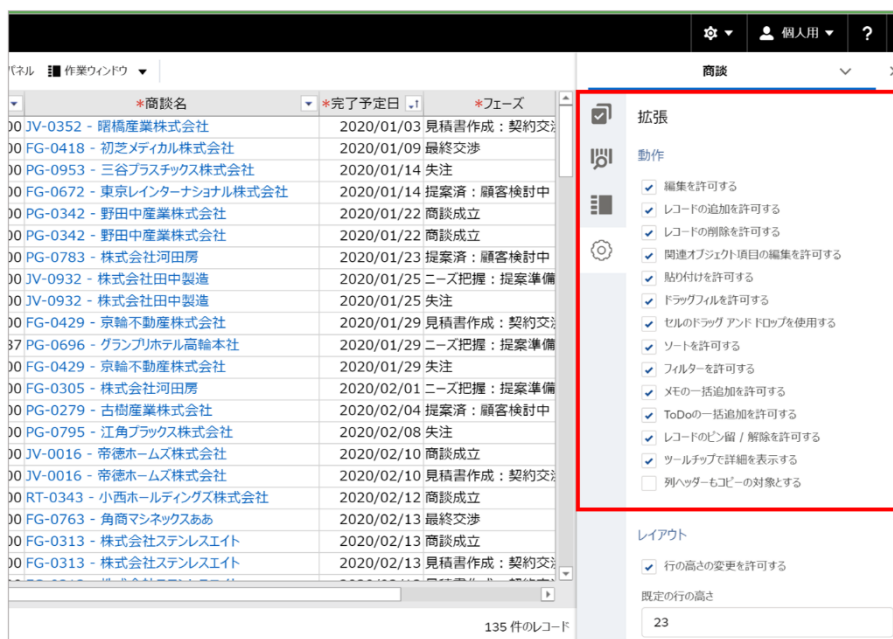
権限一覧
編集を許可する
レコードの追加を許可する
レコードの削除を許可する
関連オブジェクトの項目の編集を許可する
貼り付けを許可する
ドラッグフィルを許可する
セルのドラッグアンドドロップを許可する
ソートを許可する
フィルターを許可する
メモの一括追加を許可する
ToDo の一括追加を許可する
レコードのピン留/解除を許可する
ツールチップで詳細を表示する
列ヘッダーもコピーの対象とする

操作手順

ビューのデザイン権限を持つユーザが対象のビュー右上の歯車をクリックし、[高度なデザイン]を開きます。



歯車マークで表示されている [拡張] タブを開き、権限を設定します。



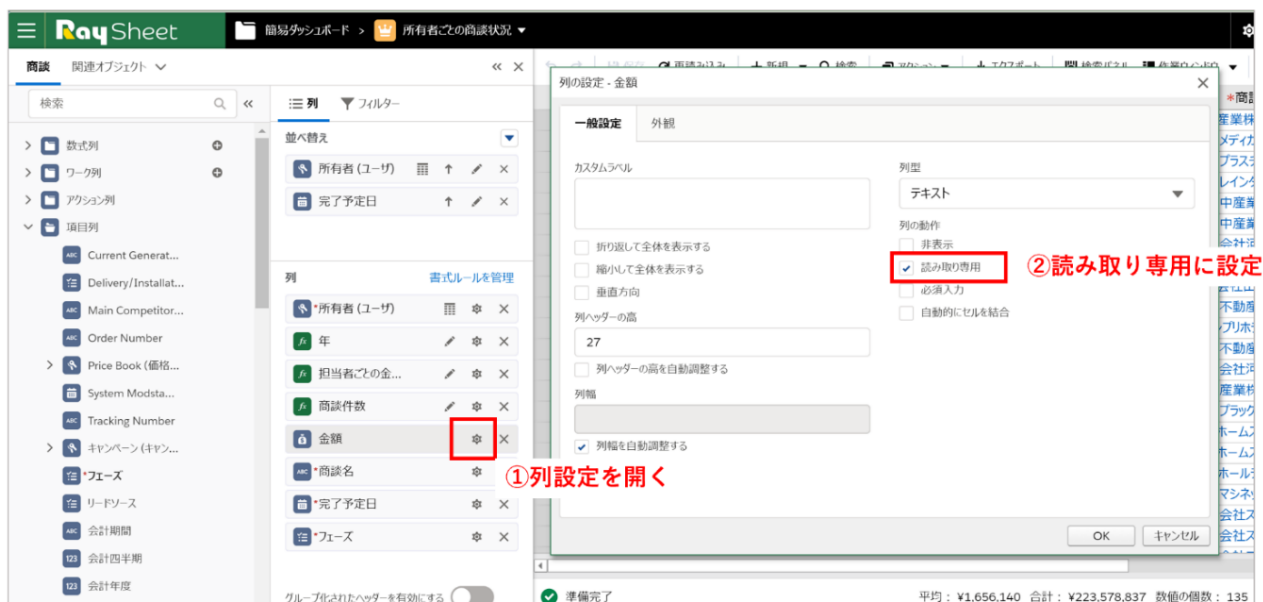
- [機能の有効化/無効化] [RaySheet 設定] で無効にした機能は、利用することができません。

読み取り専用列を設定する

ビューの列設定で列単位に読み取り専用を設定することができます。ここでの設定はすべてのユーザに適用され、RaySheet からは編集できない状態になります。

操作手順

ビューのデザイン権限を持つユーザが対象列の列設定を開き、[読み取り専用] にチェックします。



実行時の挙動

項目名の前に鍵マークが表示され、列全体が編集不可になります。


編集不可に

金額	*商談名
¥2,370,000	JV-0352 - 曙橋産業株式会社
¥350,000	FG-0418 - 初芝メディカル株式会社
¥3,500,000	PG-0953 - 三谷プラスチック株式会社
¥1,200,000	FG-0672 - 東京レインターナショナル株式会社
¥1,300,000	PG-0342 - 野田中産業株式会社
¥1,300,000	PG-0342 - 野田中産業株式会社
¥1,230,000	PG-0783 - 株式会社河田房
¥240,000	JV-0932 - 株式会社田中製造
¥240,000	JV-0932 - 株式会社田中製造

RaySheetPage の共有先を設定する

RaySheetPage はデフォルトでは、作成者のみ表示・編集することができます。
他のメンバーにも共有したい場合には別途共有先を設定する必要があります。

操作手順

 マークをクリックし、設定ダイアログを表示します。設定は、全員・ユーザ・ロール・公開グループ単位に行えます。



共有方法は「変更と表示」「参照のみ」の2種類あります。各方法で行える操作が異なります。

参照のみ

- ・ RaySheetPage の参照と編集が可能
- ・ RaySheetPage の設定変更と削除は不可。

※RaySheetPage を複製して個人用に別途作成することは可能

RaySheetPage名	画面レイアウト	共有状態	レコードページ	最終更新者	最終更新日 ↑	所有者
商談	2列			グレープ 桃子	2021/5/19 17:49:58	グレープ 桃子

設定変更と削除が不可

変更と表示

- ・ RaySheetPage の参照と編集が可能
- ・ RaySheetPage の設定変更と削除が可能。

商談	2列			佐藤 太郎	2021/5/21 15:09:09	佐藤 太郎
----	----	--	--	-------	--------------------	-------

設定の変更と削除が非表示



- ビューデザインの変更は RaySheet アプリで行います。
- RaySheetPage で表示しているビューは RaySheet アプリで作成したビューを参照しています。そのため、ビューが所属する大元のフォルダの共有先に各ユーザを設定しておく必要があります。

権限設定の例

【ケース 1】特定のユーザのみビューのデザインを許可したい

ビューのデザインは RaySheet 管理者設定の [権限] タブで行います。

プロファイルタブで営業部の [ビューのデザイン] 権限を不許可にします。この設定によって、営業部のメンバーはフォルダのデザインが行えなくなります。

RaySheet 設定

ディスプレイモード 機能の有効化と無効化 オブジェクトの設定 **権限** 表示できるオブジェクト 設定のエクスポートとインポート

既定では、Salesforce組織内のすべてのユーザがRaySheetのすべての機能にアクセスできます。指定したプロファイルまたはユーザの権限を制御する必要がある場合は、次のオプションをオンにしてください。
重要：このオプションを有効化すると、初期状態では、不許可にできるすべての機能がすべてのプロファイルとすべてのユーザに対して「不許可」となります。許可する機能を必ず指定してください。

プロファイルごと、ユーザごとの権限設定を有効化する ☒

プロファイル ユーザ

フィルター ▼

プロファイルの検索

システム管理者
ソリューション管理者
マーケティングユーザ
営業 (正社員)
契約 管理者
参照のみ
標準 Platform ユーザ
標準ユーザ

営業 (正社員)

変更を保存 変更を破棄

権限

すべて許可 すべて不許可

ビューの管理	許可	不許可
ビューのデザイン	許可	不許可
フォルダの作成	許可	不許可
フォルダの共有	許可	不許可
RaySheetPageの編集	許可	不許可

営業部の中でもグレープ桃子さんにはデザイン権限を付与したいので、ユーザタブに切り替えて [ビューのデザイン] 権限を許可に設定します。

プロファイルごと、ユーザごとの権限設定を有効化する ☒

プロファイル ユーザ

フィルター ▼

ユーザの検索

Chatter Expert
Data.com Clean
Platform Integration User
Process Automated
User Integration
User Security
グレープ 桃子
伊藤 隆

グレープ 桃子
nanaa7.sato@gmail.com
ロール: リーダー
プロファイル: 営業部

変更を保存 変更を破棄

権限

すべて継承 すべて許可 すべて不許可

ビューの管理	継承 (不許可)	許可	不許可
ビューのデザイン	継承 (不許可)	許可	不許可
フォルダの作成	継承 (不許可)	許可	不許可
フォルダの共有	継承 (不許可)	許可	不許可

【ケース 2】特定の項目のみ編集を不許可にする

特定の項目のみ編集を不可にしたい場合には、ビューの「基本デザイン」 - 「列設定」で「読み取り専用」にチェックします。

この設定によって、このビューの編集権限を持つすべてのユーザが列全体の編集が行えない状態になります。

【ケース 3】ビューを閲覧専用にする

ビューごとに編集操作を制御したい場合には、ビューの「高度なデザイン」 - 「拡張」で「編集を許可する」のチェックを外します。システム管理者を含むすべてのユーザがこのビューで編集不可になります。

2021 年 5 月版